



学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 庄司 伸哉

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

2学期のスタート！実りある充実の学期に！

長い夏休みが終わり、学園に子供たちの元気な姿が戻ってきました。これから「学びの秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」の2学期が始まります。畑のサツマイモもすくすく育っています。「食欲の秋」でもあります。心身ともに、実りある2学期としていきましょう。

始業式では学園生の努力を讃え、皆の励みに！

夏休み中も学園生の活躍が次々と届きました。そこで本日の始業式で表彰式を行い、活躍を讃えました。

1 漢字検定協会主催「漢字検定」

7月14日に実施した漢字検定の合格者の発表を行いました。自分の級が上がることを励みに頑張って取り組んだ結果です。これからも更に上を目指していきましょう！

2 「第2回全国特別支援学校ポッチャ大会」

（ポッチャ甲子園）全国第三位！！

7月21日（金）港区スポーツセンターで、全国36校のチームが出場して大会が開かれました。参加チームは昨年の2倍！東京から11校の他、北海道から沖縄まで、全国から参加があり、本格的な全国大会となりました。トーナメント方式で対戦した結果、

1回戦：茨城県立水戸特別支援学校0対5で勝利

2回戦：福島県立郡山特別支援学校0対2で勝利

準々決勝：都立光明学園0対5で勝利

準決勝：愛知県立小牧特別支援学校に3対0で敗退

3位決定戦：大阪府立茨木支援学校に0対4で勝利！

昨年はベスト12でしたが、今年は全国第3位まで成長しました。優勝は都立村山特別支援学校。準優勝は愛知県立小牧特別支援学校でした。光明学園の田村校長先生は「打倒！鹿本」と檄を飛ばしていました。

3 第18回東京都障害者スポーツ大会 （ポッチャ大会）準優勝！

ポッチャ甲子園の翌日、7月22日（土）には 東京体育館サブアリーナで、ポッチャ大会が開催され、成人のチームに交じって、本校から競技部門3チーム、交流部門1チーム、合計11名の児童・生徒が参加しました。各チームの対戦結果は次の通りです！

【競技部門】

チーム鹿本 リーグ戦 2勝

準決勝 4-0 王子オールドスターズ C

決勝 3-4 王子オールドスターズ B

Theバンビーズ リーグ戦 2敗

スーパーサイヤ人ブルー リーグ戦 2敗

【交流部門】

鹿★BUCKS リーグ戦 1勝1敗

またまた鹿本学園の強さが証明されました！

「夏季研修会報告」地域の教員と共に学び合う！

学園生の夏休み期間中を活用して、地域の小中学校等の教職員とともに学び合う場を様々設けています。その内、本校主催の事業を報告いたします。

7月26日（水）発達障害研修会 受講者約200名

テーマ 「授業のユニバーサルデザイン」

講師：明星大学研究員 京極澄子先生

受講者の感想です。「通級指導学級の担任をしています。巡回先で発達障害のある子供たちが授業に参加していけるよう、今回の研修で教えていただいた、授業のユニバーサルデザインの具体的な実践を伝えていきたいと思います。教師がしゃべりすぎず、子供が活躍できる授業を広めていきたいと思います。」

8月22日（火）区教委連携教材展 参加者約300名

テーマ 「きっと見つかる 役立つ教材！！」

鹿本学園恒例の教材展。本校全教員がとっておきの教材と指導方法をポスター展示・説明・陳列・実演し、互いに、自由に情報交換する場になりました。宮城先

生には指導講評をいただき、教材教具の更なる改善に向けて参加した教員の意識を高めることができました。

8月23(水) 地域公開研修会 参加者約50名

テーマ：文字学習導入期の指導

～1文字・2文字の単語構成～

講師：つばき教育研究所理事長 宮城武久先生

受講者の感想から。「文字の獲得のために、座り方から教員の手の置き方まで、きめ細かく研究されていて、非常に勉強になりました。」「実技中心に研修を進めてくださり、非常に分かりやすかったです。子供が何を考えているのかを教師が理解し、子供と対話するということが大切だと感じました。」(区立小学校教諭)など、どの研修会でも参加者から好評をいただきました。

PTA全国大会の報告

全肢P連/PTA校長会合同研究協議会「東京大会」

8月20日、21日、文京シビックホールと東京ドームホテルで開催されました。60回の記念大会ということで、全国から800名を超える参加者を集め、これまでで最大の大会となりました。本校PTAは、両部門ともに総力をつぎ込んで東京大会を準備、運営してまいりました。特に本校PTAが取り仕切ったシンポジウムでは、「卒業後の進路・子供たちの未来～つ・な・げ・る～」をテーマに本校と関係の深い企業、福祉、生涯学習の各分野から、シンポジストをお招きし、子供たちの未来を切り開くオリジナリティーあふれるアイデアやユニークな取り組みを紹介していただき、ICTを活用した在宅就労や、卒業後も学び続ける生涯学習などについて、夢のある発表に注目が集まりました。また、在宅就労している本校卒業生の発表では、参加者の皆さんが感動の涙を抑えることができない様子でした。

東京大会は北特別支援学校を主管校として、都内17校の肢体不自由特別支援学校が協力して、2年が

かりで準備してきました。鹿本学園PTAは2日間のプログラムの中でも特に目玉となるシンポジウムを企画し、当日の資料冊子作製を含めて準備・運営をしてきました。校長・副校長をはじめ、教職員も進行、記録、機器準備操作、看護等、裏方で全面的に協力してきました。全国から集まったPTA会長から、「どうして鹿本学園のPTAはこれほどすごいことができるのか？」と質問されるほど、東京の併置校を代表する本校PTAの活躍が光っていました。

全知P連/全国研究協議会「東京大会」

8月26日～27日、東京プリンスホテルで1000名を超える参加者を集めて行われました。50回記念大会ということで、こちらまで最大規模の大会となりました。全肢P連東京大会と同様に、本校PTAは両部門から参加。校長、山崎副校長、藤上主幹教諭、原教諭の4名も参加しました。また、初任者4名と川村主任教諭もボランティアとしてかかりました。

多岐にわたる内容で盛り多い大会でしたが、特に東日本大震災時の対応から学ぶ震災時の備えや南海トラフ地震を想定した学校、PTAの対策は大変参考になりました。また、特別講演でのスペシャルオリンピックのお話は、東京2020パラリンピックに向けてというよりは、子供の生きがいをどう作り出していくかという点で多くの示唆を得ることができました。今後、本校でも知的障害のある子供たちの生涯スポーツに向けた取り組みを推進する必要を感じました。

また、本校開校時から「虹の友情校」の縁組締結をしている「長崎県立虹の原支援学校」のPTA会長と御挨拶することもできました。

全国的な交流を通じて、鹿本学園の良さを全国に伝えることができたと感じさせる両大会でした。これも両部門が一致団結した本校PTAの活躍があったからこそです。大成功おめでとございました！

校長 庄司 伸哉

移動教室に行ってきました!!②

S部門 小学部5年・6年 移動教室報告

7月4日、5日に1泊2日の日程で、東京スポーツ文化館に行きました。5年生にとっては、初めての宿泊行事でした。家族と離れて寝泊りすることが初めての児童もいましたが、2日間とも、よく食べ、よく眠り、よく笑い、普段の教室と変わらない児童たちの様子に、「仲間がいるから安心！」という5年生の結束力を感じました。現地では、水元小合学園の5年生とも合流し、夢の島熱帯植物館を回ったり、水元小合学園の先生作製の「もぐらたたきゲーム」を楽しんだりしました。宿泊の一番の思い出は、なんととっても就寝前の大部屋での“5年生全員集合”でしょう。パジャマで一緒に過ごしたことで、友達をより身近に感じることができました。移動教室を終え、一段と結束力が増した5年生です。

S部門 小学部5学年 移動教室担当 三好 亮子

6年生は2回目の移動教室ということもあり、見通しをもって活動したり、リラックスして過ごしたりできました。学年でのカローリング大会では、的を狙ってストーンを滑らせるフォームを各自で工夫して取り組み、紅白チームに分かれての団体戦で大いに盛り上がりました。また、夕食後は、トーチリレーやキャンプファイヤー、ダンスを行い、6年生ならではの活動を楽しみました。学年の友達と一緒に風呂に入ったり、部屋で一緒に過ごしたりして、「やっぱり友達っていいな！」と仲間意識も更に深めることができました。

S部門 小学部6学年 移動教室担当 太田 典子